

平成25年5月13日

会 員 各 位

関西大学経済人クラブ
会 長 西 村 太 一
代表幹事 田 合 邦 臣

第199回例会のご案内

拝 啓 新緑の候、皆さまにはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より当クラブに対し、ご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

早速ながら、平成25年度1回目となる第199回例会を下記の通り開催いたします。

今回は、総会議事（平成24年度事業報告・収支決算報告、役員人事について）のあと、母校商学部教授で、現在、商学部長をお務めの高屋定美先生に、「欧州債務危機の真相と日本への影響」と題してご講演いただくことになりました。

今回の講演では、「一見すると収束したかに見える欧州危機が、2013年以降にも再燃する可能性があること、欧州経済統合の行方がどのようになるのか、そして世界経済への影響を述べる。

欧州での対策は抜本的ではなく、キプロスやスロベニアのように次々と債務・金融危機がおきることが考えられる。スペイン、イタリアの財政問題、そして何より2013年のユーロ圏はマイナス成長の見込みであり、欧州危機が再び市場により認知される危険は潜んでいる。とくにEU内の政治的意思決定の不整合が今後も問題を複雑にする。

2013年の欧州は制度改革を進めて危機克服への地歩を固めるか、90年代の日本のような長期停滞に陥るかの分水嶺を向かえるものとする。ここでは2013年中でのEUの動向を盛り込みながら、14年以降の欧州経済の行方を考えるための材料を提供する予定である」と講演要旨を述べておられ、興味あるお話しをお伺いできるものと思います。

時節柄、ご繁多のこととは存じますが、お知り合いの方も、是非お誘い下さいましてご出席下さいますよう、ご案内の方お願い申し上げます。 敬 具

記

日 時 平成25年6月24日(月) 午後6時
場 所 大阪・梅田 大阪新阪急ホテル2階「星の間」(☎:06-6372-5101)
テ ー マ 「欧州債務危機の真相と日本への影響」
講 師 関西大学商学部長・教授 高屋 定美 先生
当日会費 10,000円 (規定により80歳以上の優待会員、女性会員は半額です)

*優待会員を除く会員の皆さんには、平成25年度年会費(10,000円、女性会員5,000円)の振込用紙を同封しております。お振り込みの程、よろしくお願ひ申し上げます。

—— 講師 高屋 定美（たかや さだよし）先生のご紹介 ——

略歴 1991年 神戸大学大学院経済学研究科修了 博士（経済学）
1991年 近畿大学商経学部助教授を経て教授。
2004年 関西大学商学部教授
現在、 商学部長

専門分野：国際金融論、欧州経済論

最近の研究：欧州危機、国際通貨制度改革、国際金融規制

著書：『欧州危機の真実』東洋経済新報社、2011年。

※次回例会について

お蔭様で当クラブは、本年11月26日に創立50周年を迎えます。また、例会も次回は、第200回となりますので、2つの慶事を一緒にお祝いいたしたく、次回例会は、「創立50周年記念第200回例会」として、11月26日（火）午後6時から、ホテル阪急インターナショナルで開催の予定です。

正式なご案内は、後日、改めて差し上げますが、あらかじめご予約くださいますよう、よろしく願い申し上げます。

※「経済人クラブニュース」2013年 春号を同封しています

当クラブでは、役員や会員の方々の協賛広告をいただいて、年2回「経済人クラブニュース」を発行しております。今回、2013年春号を同封しておりますので、ご高覧ください。

※「第4回関西大学・復旦大学経済フォーラム」と「関西大学3研究所合同シンポジウム」のチラシを同封しています。是非、ご参加ください。

当クラブも後援している「第4回関西大学・復旦大学経済フォーラム」と「関西大学3研究所合同シンポジウム」が、5月24日（金）と25日（土）に、母校千里山キャンパスの以文館と尚文館で開催されます。いずれも入場無料・申込不要です。ご興味のある方、お時間のある方は、是非ご参加ください。